

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日: 令和 年 月 日 集計期間: 令和 3 年 2 月 1 日～令和 3 年 3 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービスK&M 保護者等数(児童数) 13名 回収数 8名 割合 60 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1			・室内でも体を動かせるスペースがあるのはとても良い。 ・クールダウンできる部屋があるのが素晴らしい	お子さんが見渡せる一つの空間で活動を行っています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3			5	・保育士の方が多くて安心します	子どもと関わることが上手な保育士、幼稚園教諭が揃っています。安全確保から増員していきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2		1	5	・階段を使わないと辿りつけない	建物の構造上、エレベーターもなく皆様にはご不便をおかけしています。皆様が安全にご利用できるように努めて参ります。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	7			1	・保護者の話をよく聞いたうえで作成してもらえました。 ・支援内容も具体的でわかりやすい。	ニーズや課題に決め込まやかに分析できるよう努力していきます。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	4	1		3	・色々なイベントがあり参加できるのを楽しみにしています。 ・毎回、いろんな活動をさせてもらえるので子どもは楽しみにしています。	前月にイベント活動予定表を作成し親御さんに配布しています。曜日ごと偏らないように均等にイベントを考えています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	1	5		新型コロナウイルス感染拡大を鑑みながら開催を予定していきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8				・利用手続きの際、丁寧に説明してくださいました。 ・契約から毎月のおやつ代など細かい説明があるのでわかりやすい。	支援計画の内容をしっかりと伝えし口頭による報告に加え記録でもお伝えしております。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	1		1	・毎回、送迎の際、その日の様子や状況を詳しく教えて下さり理解しやすく助かります。	相談希望によって面談を行っています。また、周知や相談のしやすい等、改善を行っています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1		1		相談希望にて面談を行っています。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		1	6	・今後、保護者同士の勉強会、交流会などあるといいなと思います。	新型コロナウイルス感染拡大を鑑みながら開催を予定していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			4	・親だけでなく子供にもわかりやすいように説明してください。 ・さるので丁寧な対応でありがたいです。	苦情解決のご説明は契約時にお伝えいただいています。また、何かあればすぐに対応させていただきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	1				連絡帳や送迎時において保護者の方と共通理解を図っていきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1		5	・今後、事業所の会報やホームページなどでできるとよいなと思っています。 ・ラインで連絡が取れるとありがたいです。 ・ホームページなどで利用日以外の様子が見れるとありがたいです。	ホームページを活用し親御さんが周知できるよう努めて参ります。公式ラインが立ち上がりましたのでご利用ください。
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	6			2	・常に気をつけて対応してくだります。	継続して気をつけていきます。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3			5		親御さんに周知できるよう努めてまいります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			7	まだ、訓練などしていないと思うので、今後、定期的に取り組んで欲しいです。	緊急時の連絡、訓練などの方法や周知、訓練内容の報告を検討していきます。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1			・笑顔で帰ってくるので楽しんでいると思います。 ・利用回数がまだ少ないので楽しさと緊張があるみたいです。	今後ともお子様が楽しめるプログラムを行っています。
	18	事業所の支援に満足しているか	7	1			・細かいところまで配慮していたので安心して利用できる ・感謝しています。 ・子供の特性に合わせて上手に対応してくれるのでありがたいです。	お子さんたちが楽しみに期待して通える事業所になるよう、今後もプログラムや支援方法を工夫していきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 3 月 日

公表:令和 年 月 日

事業所名: 放課後等デイサービスK&M

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		様々な活動に合わせた環境設定をしている。	訓練指導室は59.04㎡あり、集団活動が行えるよう視覚がない指導員の目が行き届く一つの空間を使用しています。
	2	職員の配置数は適切である	○		人員を増員しゆとりを持てるよう	児童10名に対し指導員2人という人員配置基準は満たしている。保育士、幼稚園教諭など児童分野で経験と専門性の備えたスタッフを配置。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		目が行き届きやすい一つの空間を使用しており必要に応じて見守り介助を行っている。また、玄関の段差をバリアフリーにしている。	建物の構造上、エレベーターがないため、階段の両側に手すりを配置。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		PDCAサイクルに心がけ活動前後で職員間のミーティングを行っている。	新人職員にもPDCAサイクルを説明し様々な意見が出るように工夫している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	令和2年12月開所の事業所のため今回が初めての自己評価となります。	面談やアンケート等、継続的に保護者からの意向を把握し業務改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	令和2年12月開所の事業所のため今回が初めての自己評価となります。	今回、最初の自己評価となりますが毎年、公表していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	令和2年12月開所で日が浅いため保護者と社内でのみの評価になっています。	今後、必要があれば実施、検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		スタッフミーティングでの研修、ケース会議などを行っている	外部研修はコロナ禍の中、オンラインで開催されています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		見学や体験時、または送迎時の際に、ニーズを把握したり行動観察を支援記録に記載し個別支援計画書に反映させている。必要に応じてWISK検査結果をお持ちいただき発達状況を把握している。	保護者からいただいた情報を受けて計画を作成しております。ニーズがすぐに対応できていないこともあるので必要に応じて早急に見直していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			法人で作成したアセスメントを使用していますが個別支援計画書の反映させる最低限の内容となっています。もう少し充実できるよう見直していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラムはチームで立案し利用児童に合わせて偏らないように工夫している。	基本的に利用される児童の安定できるよう変えないようにしているが内容には前回のものと重ならないように工夫しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節や子供の状態に応じたプログラムになるように工夫している。	放課後、学校休業日とそれぞれに楽しめるように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		日ごろから課題や目標を設定している。今後は目標や課題はきめ細かく設定したい。	きめ細やかに課題に取り組めるよう職員同士で情報共有し設定できるように工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動が主体だがお子さまの発達に合わせて必要があれば集団活動も組み合わせている。	発達に合わせて適宜、集団活動も取り入れて楽しんでいただけるよう集団活動のイベント計画を作成し参加していただけるように工夫しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、役割分担と支援記録の振り返りをし個別支援計画の内容の取り組みができるように打ち合わせをしている。	毎日、支援記録の振り返りと個別支援計画の目標と合わせて支援内容と役割分担を毎朝のミーティングで確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌朝、ミーティング時に前日の振り返りと気づいた点を共有している。	支援終了後、送迎、個別の記録などで一定にならないため、翌日に業務記録を確認しながら行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別支援計画に沿った内容を記録している。	今後はさらに記録を充実させるために発達の気づきや嗜好の気づきなども記録し充実させていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		概ね6か月一回、支援計画の見直しが行える内容にしています。	モニタリング期に可能な職員には作成時に参加してもらい多くの意見がいただけるようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○		事故を表現できる創作活動や音楽活動、リラックスできる余暇の提供には力を入れている。	基本的なところを把握しながら、当法人の特色を出していけるように支援していきたいと考えています。

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童発達支援管理責任者が参画している。	今現在は、児童発達支援管理責任者が参画しているが今後、ほかの職員も参画できるように指導していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	下校時間の確認と受け渡し方法、対応については学校に伺い対面で調整している。行事予定も学校によっていただけている為、行事予定でも送迎時間等、確認している。	学校からの情報提供などは連絡や送迎時にいただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	医療的ケアが必要な児童の受け入れはしていません。	看護師の配置していないため、医療的ケアが必要な児童の受け入れはしていないが緊急時の対応でかかりつけ医または救急搬送先は契約時に伺い職員間で共通認識している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	令和2年12月開所の事業所のため就学前の児童を受け入れをしていません。これからニーズがあれば情報共有に力を入れたい。	今現在、受け入れはないが就学に向けて見学にお越しになられているお子さん、親御さんと見えています。利用につながれば連携を図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	令和2年12月開所でこれから卒業生を送り出していきます。その時に情報提供できるように準備を進めていきたい。	他事業所へ情報提供できるように強化していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	今後、検討していきたい。	必要があれば、対応していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	今後、検討していきたい。	機会があれば交流を図っていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	自立支援協議会児童部会に参画できるように努めたい	コロナ禍ですが案内があれば参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	特に課題解決につながる、発達の気づきについては小さなことでも伝えて、発達の喜びを共有するよう心掛けている。	送迎時や面談時に日ごろの状況についてお話させていただいています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	子育ての悩みを解決する機会を持つため、保護者の交流会など企画していきたい。	保護者から対応力などの質問はほとんどございせんがケースがあれば対応できるよう研修等を行い受け入れ態勢を強化していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	分かりやすい言葉で丁寧に説明しわからないことがあれば時間をかけて説明している。	契約時に、わかりやすく説明しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	日々の保護者の会話や面談の中で適宜、助言を行っている。今後はコミュニケーションを密にして、悩みをしっかりと聞き取れる関係を作っていきたい。	電話や、送迎時、面談等で相談に乗り対応しております。継続して助言や支援を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	保護者の茶話会を実施していきたい。	コロナ禍ですので今現在は検討していませんが、落ち着けば機会を作っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	開所して間もないため保護者からの苦情はないが対応の体制を整備し迅速かつ適切に対応できるように努めたい。	迅速、適切に対応できるよう全職員に研修を行い全職員が適切に対応できるように努めていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	肖像権の同意書は取っている。行事予定は配布しているが会報等は発信ができていない。ホームページ等で活動内容を報告できるようにしていきたいと考えている。	行事予定は毎月、イベント計画を作成。活動概要等、保護者に対して発信できていないため公式ラインを使用するなど対応していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。	書類等は鍵付きのキャビネットに保管し、保管場所から他の場所へ持ち出さないように徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	表情の変化を通して楽しさ、驚き、緊張など子どもたちの様子がよくわかるように写真を多く活用しお便りを発行できるように工夫していきたい。	表情の変化を通して絵や写真を使用し意思が伝わりにくい方にはどうするか検討していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	地域住民の方などボランティアに依頼し地域交流を図れるようにしていきたい	行事等、特に行っていませんが希望があれば空いている時間を利用して検討したい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	各種、マニュアルは策定しているが職員、保護者に周知できていない。	早急に、周知できるように努めていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	年2回義務付けられていることは承知している。開所して半年で行えるように検討中。	災害、特に東海大地震が予想されているため早急に訓練を行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止責任者のもと定期的に行っている。	虐待チェックリストなどを作り、毎年、定期的に実施し、その結果をもとに課題を整理し研修の企画を作れるように工夫していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束のマニュアルに沿って、切迫性、非代替性、一時性の要件等を契約時に説明し同意をいただける準備はしている。	今のところケースがございません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの情報をもとに対応しています。	アレルギーがあれば活動に取り入れないようにしている。必要があれば救急搬送先など保護者と取り決めを行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	事故につながる前の予測になる為、すぐに取り組み職員間で共有し再発防止に努めたい。	すぐに取り組み、職員間で共有し再発防止に努めたい。